

一、織部職工標準定給

二、三持 五十五錢

三持 八十五錢

二、イ、整経（ワーピング）前捲 九十錢 後捲 七十錢

ロ、ローピング 甲級 七十錢 乙級 六十錢 丙級 四十錢

ハ、引通シ 前役 六十八錢 後役 五十錢

油差ショリ保全ヘ昇格ノ場合 六十錢

三、新組頭ノ定給 一圓二十錢

新見廻ノ定給 九十八錢

糊付 前後役 織部ノ標準ニ依ツテ定給ヲ定メラレタキコト

等ノ事項ヲ列記シ之ヲ要求書トシテ提出シ來レリ而シテ此ノ要求タルヤ全ク事理ヲ辨ヘサル不法ノ要求ニシテ會社ガ之ヲ認容シ難き事ハ先ノ歎願事項ノ場合ト同様ナレバ重テ再考フ促シタルニニ應スルノ氣色ナク突然怠業ヲ開始シシノ状日ヲ追ツテ著シク織上生産高ノ著減ヲ來スニ至リタリ、工場當局者ハ此間誠心誠意會社ノ難局ヲ訴へ勞資相互ノ利害ヲ説キ切ニシノ反省ヲ促スト雖モ何等妥協ノ實ヲ示スニ至ラズ此ニ於テカ會社ハ織機工員ニ對シ怠業反省ニ就キ最後ノ警告ヲ發シタルモ更ニ其効ナク問題ハ却テ惡化シテ工場全體ノ怠業ヲ惹起スルコト、ナリタリ。

●會社ノ現狀 會社ハ大正十二年ノ大震災ノ厄ニ遭ヒ翌十三年原料羊毛ノ暴落ニヨリテ莫大ナル損失ヲ重ネ非常ナル窮境ニ陥リ昭和二年四月重役ノ交迭ヲナシ職員ノ整理ヲ行ヒ資本企ニ半減シ銳意業務ノ刷新ニ努メ大ニ工場能率ノ増進、経費ノ節約ヲ圖リタル結果近時漸ク其ノ効果現ヘレキア復興ノ曙光ヲ認ムノニ至リシモ其前途容易ニ樂觀ヲ許サルモノアリ

●工員ノ態度 今回ノ罷業ハ前述ノ如ク其原因織機科ノ賃金値上問題ニアレドモ此ハ直接原因ニシテ外ニ幾多ノ誘因アリ而シテ其ノ根本ヲ爲スモノハ組合指導者ノ氣風惡化之ナリ即チ吾嬬工場工員組合ハ一昨年初頭以來組合ハ組合同盟、總同盟系ノ二派ニ別レ互ニ競争ヒテ下ラサリシガ昨年九月競争ヲ捨テ、合一シタリシモ内部ノ感情容易ニ融和セズ其後十一月會社ノ改正賃金制度實施セラル、ヤ一部ノ野心家ハ之ヲ奇貨トシテ策謀シ事毎ニ會社ノ施設ニ反対シ事質相違ノ宣傳ヲ行ヒ以テ女工員ヲ煽動シ彼等ノ反応ヲシテラシム等不隠ナル運動ニ依リ一般工員ノ氣風ヲ惡化セシメタルコト少々ナラズ左ニ列記スル二三ノ例ニ見ルモ大約ノ程度ノ如何ヲ察知シ得ベシ

用ヒテ强迫シ又會社ニ對シ之等ノ信者ヲ他科ニ移動セントラル水メ果テハ其解職ヲ迫ル等不合理ナル舉ニ出テタルノミナラズ窮餘ノ策トシテ斯ル信者ノ工場内ニアル限リ吾等ハ之ト共ニ業ニ就ク船ハズトテ舉テ作業ノ中止ヲナス等ノ暴舉ニ出テタルヲ以テ會社ハ止ム無ク彼等三人ノ女工員ヲ他科ニ移シテ和平ニ力メタリ

◎(四)協議會問題、會社ハ大正十年十月工場協議會ヲ設立シ勞資協調ノ質ヲ擧グノ目的ニ善導シ奉リタルモノ今回(三月廿八日ヨリ開會ノ第十六回)ノ協議會ニ於テハ工員側ノ提出ニ係ル「廿七箇ノ一議案中ニハ(一)メテテフ休日トスルコト(二)協議會議員被選舉資格年齢ヲ低下スルコト(現行廿五歳ヲ廿歳ニスルコト)(三)宅料五割増額ノコト(四)春秋二季ニ慰安會ヲ催スルコト(五)退職手當増額ノコト(六)祝祭日ニ日給全額支給ノコト(七)信託積立金制度撤廢ノコト(八)時間外勤務手當ヲ現行ノ五割増スルコト(九)現行賃金制ヲ廢シ舊制ニ復スルコト等會社トシテ全然不可能又ハ容易ニ認容シ難き問題ヲ列舉シ更ニ甚シキハ信教ニ關スル會社ノ意志如何ト云フガ如キ問題迄モ之ヲ加ヘ來リ全ク協調ノ誠意無ク殊異難事ノ進行ヲ妨ケ又慰安會問題ノ協議ニ際シ織機科ノ怠業ヲシテ益々烈シカラシメタルノミナラズ四月一日ニ至リテハ遂ニ紡績科ヲモ勵誘煽動シテ之ヲ怠業仲間ニ引入レ時々勞働歌ヲ高唱シテ、協議會夕場タル事務所ノ周圍ニ集合シテ氣勢ヲ張ル等秩序ノ紊亂ヲ取スルニ至リ此一班ヲ以テ見ルモ工員組合乃至組合指導者一般ノ氣風ヲ如何ニ惡化セシカラシ察知スルニ足ルベシ時間順行問題以來工場ノ秩序ハ將ニ組合ノ爲メニ踩躡セラレントシ工場ノ管理統領ハ殆ド不可能ノ域ニ達セントシ、アリ、工員ノ心境組合ノ状勢斯クノ如クニシテ最早此儘ニテハ如何トモスル能ハズ從來會社が問題ノ發生スル毎ニ懸念質問只管平ナル解決ニ盡シタル努力モ忍耐モ今ヤ全ク水泡ニ歸シタルハ甚々遺憾トスル所ナルモ會社ハ自己ノ存立上又將來多數者ノ幸福ノ爲メニ涙ヲ振ツテ最後ノ處断ニ出タル所以ナリ

昭和四年四月五日

東京モスリン紡織株式會社

吾嬬工場